

このプラザニュースは、厚木市情報プラザで活動している厚木市マルチメディアボランティア（マルボラ）が、地域住民とのコミュニケーションを図るために、厚木市の協力を得て、編集・発行しています。ご自由にお持ち帰りください。

2018年6月1日発行

No.113

プラザニュース

(c)1999 Atsugi City Multimedia Volunteer

〒243-0021 厚木市岡田 3050 情報プラザ Tel 046-220-2711



©厚木市

自ら情報発信！ これからのまちづくり



厚木市では、平成29年12月1日から、身近なまちの課題や地域の魅力的な場所などについて、市民の皆さんからスマートフォンなどのカメラ機能やGPS機能（位置情報）を利用して、市に情報提供していただく厚木市民情報提供システム「スマ報」のサービスを開始しました。（スマ報URL：<https://atsugi-smahoh.jp>）

市の実績報告書によりますと、サービス開始から4か月間で月平均36件、「スマ報」から情報提供があったそうです。とはいえその割合は、まちの課題としての情報提供総件数のおよそ9%。「知っているけど、使ったことない」「なんか敷居が高い」という市民の皆さんも多いでしょう。

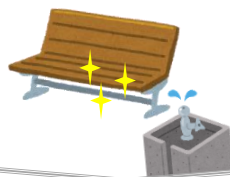
しかしながら身近な例ですと、お子さんがいる家庭では、通学路の損傷箇所や普段利用している公園の不具合など、手軽に確実に「スマ報」で通報することで、安心して安全なまちづくりに貢献することも可能です。また、担当課の電話番号も掲載されているので、緊急の場合など、有効に活用できそうですね。

ここでは、マルボラメンバーの「スマ報」体験や、恒例「マルボラさくらプロジェクト」への展開、セキュリティが気になるGPS機能の使い方などご紹介します。

家の近所の小さな公園、以前からベンチに穴があいている。「直さないのかな？」と思っていたところに「スマ報」！早速登録して、手順どおりに送信。後日再度「スマ報」にログインすると、修理予定日を確認することができ、更にしばらくしてその公園にいくと、ベンチが直っていました。

このように自分の周りの困りごとを送ってみましょう。対応の可否、対応時期などきちんとお知らせしてくれます。

自分も役に立ったと思う瞬間です。



「スマ報」は、まちの課題だけではなく、厚木のお薦めスポットや、まちの景観などの厚木の魅力も共有できるウェブサイトです。

マルボラでは、2012年より「さくらプロジェクト」と銘打つマルボラでは、「街かどウォッチング」というレポートページで、厚木で、近隣の桜の開花情報を公開してまいりましたが、今年からは「スマ報」にも拡大、桜の写真をアップロードしています。

市では、提供情報を活用し、二次元コードを付けた桜マップも作成し、ホームページや公民館で配布したそうです。情報の二次利用がし易いのも、このシステムの魅力。今後も、あつと驚く情報発信、活用が期待されますね。



「スマ報」で報告するときにはGPSを有効にして写真を撮ることになっています。GPSとは人工衛星を使って現在地を知るシステムのことです。有効にすると、皆さんが写真を撮った位置が写真の中に保存されます。

ただ写真に撮影地の情報を保存するのはセキュリティ上、不安ですね。自宅や近所で撮った写真をSNS等で公開した場合、撮影地がわかると自宅を特定されることがあるからです。皆さんの中にも普段はGPSを無効にされている方がいらっしゃるかもしれません。普段はGPSを無効にしておいて必要などきのみ有効にすることをお勧めしますが、実はGPSを無効にしたまま撮った写真は「スマ報」にアップロードできないかというところではありません。この場合「スマ報」の画面上には以下のメッセージが表示されます。

「この写真には位置情報がありません。位置情報をオンにしてください再度撮影していただくか、地図のポイントを撮影した位置に移動して修正してください。」

そのようなときは、地図上の赤いピンマークを撮影した地点に移動すればOKです。

ちょっとしたことですが、こんなコツを知ることです。「スマ報」がより身近なツールに感じてもらえると嬉しいです。





マルボラからのご案内

マルボラの講座や手ほどきはすべて無料です。
場所は、情報プラザです。

「土曜のパソコン講座」と「パソコンの手ほどき」は、開催月の前月1日から電話で受け付けています。

電話予約の時に「マルボラのパソコン講座」、「マルボラの手ほどき」とお伝えください。一回ごとのお申し込みとなります。申込後のキャンセルは、早めに連絡をしてください。

パソコンの手ほどき

日 時：毎週木曜日と土曜日の 10 時～12 時
定 員：木曜日 10 名、土曜日 4 名 (4 回まで)

手ほどきは、希望する内容を受講希望者のレベルに合わせてマルボラが個別レッスンを行います。また 2～3 名のグループレッスンも可能です。

* 希望受講日の前日正午に締め切ります。5 回以上の受講希望者は、お断りする場合があります。

＜申し込みは電話で、情報プラザへ＞

☎：046-220-2711

土曜のパソコン講座

日 時：毎週土曜日の 10 時～12 時
定 員：16 名 (何回でも受講できます)

これからパソコンを始めようと考えている方が、基礎的な操作方法を学ぶための講座です。

講座日程

	6月	7月	8月
文書作成 (応用)	(名刺) 2日	(文書の体裁) 7日	(チラシ) 4日
パソコンの基礎	9日	14日	11日
インターネット	16日	21日	18日
表計算	(現金出納帳) 23日	(基礎) 28日	(予定表) 25日

* 6月30日(土)は、一日講座です。
内容は「初めてのスマートフォン」です。

木曜の実習教室 (連続基礎講座)

日 時：木曜日の 10 時～12 時 (年間計 8 回実施)
定 員：6 名 (開講日に連続して出席できる方)

市販のテキスト (受講者は最寄りの書店でテキストを購入していただきます) を使用して、ワードやエクセルの基礎をしっかり学びます。

* 内容と申し込み受付開始日は、ポスター等でお知らせします。開講初日の 3 週間前を予定しています。

日 程：「ワードの基礎」 7月19日より (5 週連続)

質問・相談コーナー

日 時：毎週土曜日の 10 時～12 時

予約は不要です。質問・相談など (15 分程度) がある場合には、直接おいでください。

コラム こらむ

インターネットの住所が足りない

今日はインターネットの住所が足りなくなっているというお話です。

インターネットを使えば様々なことを調べることができます。便利に使われている方、これから覚えたいと思っている方、様々と思います。

インターネットとは、世界中のコンピュータが一つ一つ別々の住所を持ってつながっている世界です。

ですから皆さんがお使いのパソコンから相手の住所を指定することで(公開されている情報に限り)自由に「接続」することができ、必要な情報を入手することができます。その住所が足りなくなっています。

最近、NHK で岐阜市鷺山に 250 世帯位が同じ住所になっているという放送をしていました。郵便物や、宅配便を正しく届けることはかなり難しいでしょうね。

コンピュータの世界ではそのようなことは許されません。なぜ、足りなくなってきたのでしょうか？
現在主流の住所表示方法 (IPv4) が決められた当時、世界人口は 40 億人くらいでしたので、すべての人 (赤ちゃんから

年寄りまで) がコンピュータを持ってネットワーキングをしたとしても十分すぎるくらいと考えられていました。IPv4 の住所では約 43 億個を表すことができます。(実際には様々な技術を駆使し、もっと多くのコンピュータを識別できます)。

ところが、2011 年の国連人口白書によれば 2011 年に 70 億人を突破したとの推計です。一人が 1 台のパソコンを持つとぐに足りなくなる計算です。

それに加えてパソコンだけでなく、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、車、クーラー、テレビ等々インターネットを介して動作する機器が続々と現れているのはご存知の通りです。これからもインターネット住所を必要とする機器は増え続けるでしょう。まさにユビキタスネットワークの到来です。これへの対応としては、新しい住所表示方法が決まっています。

(IPv6 340 兆個の 1 兆倍の 1 兆倍が識別できます)

世の中が想像もできない速さで進んでおり、インターネットの住所表示も変化していくというお話でした。

-M. T. -

